こじょうライブラリー

第 78 号
2015 .1 .1
名古屋市高年大学
鯱城学園図書室報

鎮魂（十七回忌）

～仏壇はあとの祭りのするところ（漱石）～

親の死が迫る場合、家族は一日でも長く生きてと願うが、胃ろうなどの延命治療は、身体への負担が大きい。苦しい。

「それは、本当に親のためなのか？」

「最期は、穏やかに逝かせてやる方がいい」

助かる者への延命措置や、苦しむ人の痛みを軽減する緩和ケアはもちろん必要だが、逝きたいのに逝けないのが延命治療ならば、こんなにむなしいことはない。

逝くときのあまりにひどい肉体の刑罰、それはないでしょう。なんのための罠・・・

心配しないで、死を仕損じた者は今までに一人もいない。千年も流浪する、そんな恐ろしい罰を受けた者も一人もいない。

匿名で女子高生が書いていたある国の落書き詩集に

「この世にはお客様としてきたのだから、まずいものもおいしいと言って食べなくちゃ」

（茨城　のり子　詩集より）

問　延命治療について

①　家族に任せる

②　望まない

正解はない。だからこそ人は進む。

親を思わぬ子はいない。

（29期福祉学科　森崎　信夫）

※　本や図書館にまつわる投稿を７００字程度でお待ちしております。
詳しくは事務室の図書係までお問い合わせください。

※　よく読まれている本　・村上海賊の娘…和田竜　・軍師官兵衛…前川洋一／青木邦子　・鹿の王…上橋菜穂子　・海賊よばれた男…百田尚樹　・銀翼のイカロス…池井戸潤　・大人の教養…池上彰　・白蓮れんれん…林真理子　・アナと雪の女王…サラ・ネイサン／セラ・ローマン　・置かれた場所で咲きなさい…渡辺和子　・ペテロの葬列…宮部みゆき　・学年ビリのギャルが１年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格たし話…坪田信貴　・横丁と路地を歩く…小林一郎　・窓から逃げた100歳老人…ヨナス・ヨナソン　・山女日記・白雪姫殺人事件・豆の上で眠る…湊かなえ　・ソボちゃん…有吉玉青　・後妻業…黒川博行　・アヴェ・マリアのヴァイオリン…香川宣子

※　１０月～１２月の図書室利用状況（１０～１２月）

	入室者数	貸出数
1年	664	500
2年	584	366
OB	600	592
合計	1，848人	1，458冊

新刊図書（１０月～１２月）

著　者　名	著　　書　　名	出 版 社 名
内田　康夫	遺譜（上・下）	KADOKAWA
小椋　佳	生前葬コンサート	朝日新聞出版
赤城　憲雄	北のはやり歌	筑摩書房
塩見　鮮一郎	江戸の貧民	文春新書
木村　耕一	こころの朝	1万年堂書店
水原　紫苑	桜は本当に美しいか	平凡社
矢作　直樹	悩まない	ダイヤモンド社
月村　了衛	土漠の花	李白社
吉永　南央	糸切り	文芸春秋
輪島　裕介	創られた「日本の心」神話	光文新書
スコット・ジェニファー	フランス人は10着しか服を持たない	大和書房
小池　百合子	自宅で親を看取る	幻冬舎
高井　昌史	本の力　われら、いま何をなすべきか	PHP研究所
矢作　直樹	「あの世」と「この世」をつなぐお別れの作法	ダイヤモンド社
有沢　真由	美将団　信長を愛した男たち	宝島社
川上　未映子	きみは赤ちゃん	文芸春秋

鯱城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書（10月～12月）

著　者　名	著　　書　　名	出 版 社 名
上橋　菜穂子	鹿の王（上・下）	KADOKAWA
増田　寛也	地方消滅	中公新書
エミ・カワグチ・マーン	住んでみたヨーロッパ９勝１敗で日本の勝ち	講談社
矢作　尚樹	「いのち」が喜ぶ生き方	青春出版社
ヨナス・ヨナソン	窓から逃げた100歳老人	西村書店
大沢　在昌	雨の狩人	幻冬舎
青山　繁晴	死ぬ理由、生きる理由	ワニブックス
五百田　達成	察しない男、説明しない女	ディスカヴァー
岸本　葉子	江戸の人になってみる	晶文社
黒川　博行	後妻業	文芸春秋
中島　京子	かたづの	集英社
坂東　真砂子	眠る魚	集英社
安田　文吉	なごや飲食夜話二幕	中日新聞
桜庭　一樹	本当の花を見せにきた	文芸春秋
川上　弘美	水声	文芸春秋
百田　尚樹	フォルトナの瞳	新潮社
重松　清	一人っ子同盟	新潮社
瀬戸内　寂聴	死ぬってどういうことですか	KADOKAWA
林　真理子	大原御幸　帯に生きた家族の物語	講談社
安部和重／伊坂幸太郎	キャプテンサンダーボルト	文芸春秋
百田　尚樹	殉愛	幻冬舎
瀬戸内　寂聴	死に支度	講談社
水野　敬也	人生はZOOっと楽しい	文響社
小畑　峰太郎	STAP細胞に群がった悪いやつら	新潮社
誉田　哲也	インデックス	光文社
安部　龍太郎	冬を待つ城	新潮社
難波　功士	人はなぜ上京するのか	日経新聞
堤　未果	沈みゆくアメリカ	集英社